

(愛媛) 平成 26 年度 多自然川づくり研修会 (3 回) 研修概要

- ・主催：東予環境グループ&鞍瀬塾／ NPO 法人 全国水環境交流会
- ・後援：愛媛県
- ・共通テーマ：生物多様性地域連携の取り組みについて

① 第 1 回 東予地区

- ・日時：平成 26 年 7 月 29 日(火) 10：30～16：00
- ・場所：西条市石根公民館つばきホール (西条市小松町大頭甲 1048-1)

【プログラム概要】 敬称略

10：00～ 受付

10：25～ 開会あいさつ

10：30～ ①研修 「生物多様性地域連携の取り組みについて」

- ・講師 竹田純一 (東京農業大学 農山村支援センター、里地ネットワーク事務局長、森里川海生業研究所、内閣官房地域活性化伝道師、中央大学兼任講師)

12：00～ 昼食

13：00～ ②フィールドワーク 「中山川の釜之口取水堰と周りの霞堤」

- ・中山川周辺は、松山藩の飛び地で、重信川と同じように、固定堰や霞堤、湧水が存在する。中山川でも最大の釜之口堰は旧堰が弥生時代に設置されたといわれており、この取水堰から水路が周桑平野全体に網の目のように張り巡らされている。本研修会では釜之口堰とその周辺の霞堤を見学する。

14：30～ ③公開討論会 (会場からの質疑応答を含む)

- ・テーマ「複数の官庁が合同で事業を行う場合の進め方について」
- ・パネラー：講師 竹田純一、愛媛県環境マイスターより、愛媛県職員、西条市職員、地元市民グループより
- ・進行：鞍瀬塾

16：00 閉会あいさつ

*参加者：26名

《開催状況》



講座の様子



フィールドワーク

② 第2回 中予地区

- ・日時：平成26年8月26日(火) 10:30～16:00
- ・会場：松山市五明公民館大会議室（松山市菅沢町甲247-1）

【プログラム概要】 敬称略

10:00～ 受付

10:25～ 開会あいさつ

10:30～ ①研修 「生物多様性地域連携の取り組みについて」

- ・講師 竹田純一（東京農業大学 農山村支援センター、里地ネットワーク事務局長、森里川海生業研究所、内閣官房地域活性化伝道師、中央大学兼任講師）

12:00～ 昼食

13:00～ ②フィールドワーク 「石手川ダムに合流する支流五明川」

- ・県都松山市の水がめである石手川ダムは、昭和48年3月に完成した。ダムは、建設されてから30年たつと20年かけて設備の更新やダム堰堤の補修を行う。また、ダムが建設された当時に比べて、周りの自然環境、社会環境も変化してくる。水源であるダムの水をどのように守っていくのか、今回は白鷺湖に合流する支流五明川を見学する。

14:30～ ③公開討論会（会場からの質疑応答を含む）

- ・テーマ「水源地上流に様々な施設を設置する場合について」
- ・パネラー 講師 竹田純一、愛媛県職員、松山市職員、地元市民グループ
- ・進行：鞍瀬塾

16:00 閉会あいさつ

*参加者：17名

《開催状況》



講座の様子



フィールドワーク

③ 第3回 南予地区

・日時：平成26年10月28日(火) 10:30～16:00

・会場：内子町内子東自治センター（喜多郡内子町五百木187番地）

【プログラム概要】 敬称略

10:00～ 受付

10:25～ 開会

10:30～ ①研修 「生物多様性地域連携の取り組みについて」

- ・講師 竹田純一（東京農業大学 農山村支援センター、里地ネットワーク事務局長、森里川海生業研究所、内閣官房地域活性化伝道師、中央大学兼任講師）

12:00～ ②フィールドワークと昼食 ・現地紹介：愛媛県、内子町

- ・会場から道の駅「からり」周辺にかけての小田川と河畔林(内子町)

：日本で初めて多自然型川づくりが行われた内子町の小田川は、山と川が一体となった整備が行われている。会場の内子東自治センターから道の駅「からり」まで昼食がてら、山から川へ続く「緑」の連続性について見学する。

14:30～ ③公開討論会（会場からの質疑応答を含む）

- ・テーマ「行政に依存させない地域住民への支援について」
- ・進行：鞍瀬塾
- ・パネラー 講師 竹田純一、愛媛県環境マイスターより 水本孝志
愛媛県職員、内子町職員、地元市民グループほか

16:00 閉会あいさつ 内子町職員

*参加者：29名

《開催状況》



討論会の様子



フィールドワーク